

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月30日更新

事務事業名	こころの相談事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	澤田 勝矢
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	福本 美恵子
	施策の柱	44	病気の早期発見			所属班	健康推進班	(内線)	2132
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	精神保健福祉法		
	一般	4	1	1	10365		成果優先度評価結果	⑦	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	毎月1回、精神科医師による相談事業を実施している。①広報誌・健康づくり事業計画表により周知。電話や来所(予約制)、本人や家族による相談を受ける。 平成14年度までは県が実施主体であった精神保健に関する事業の一部が市町村のに移管されたことに伴い、相談事業を強化する目的で専門医をスタッフに含めた体制とした。 相談者数は年間10件程度であるが、病院まで行けない人、また、対応に困っている家族への支援に寄与している事業である。平成24年11月から、こころの病気の早期発見のため、心の健康状態をパソコンや携帯電話から簡単にチェックできる「こころの体温計」システムを導入したが、アクセス数は減少傾向で相談にもつながりにくいため、平成27年度をもって廃止する。今後はこころの相談の周知徹底を行う。
【業務の流れ】	相談事業：電話及び窓口相談により解決しない場合、相談日を設け実施する。日程・時間は予約制。 こころの体温計：各自でホームページよりリンクし、使用。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	相談者数は横ばい。健診の機会等も利用し、今後も周知をはかり早期相談に繋げたい。こころの体温計利用者は導入当初から比べると減少している。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 相談事業：年間7回の実施。1回の相談日で2枠相談可能。
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO) こころの相談：実施回数5回、6件実施し、家族関係の悩みが多かった。 こころの体温計：アクセス数(全国)5,385件あった。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア: 相談回数 イ:	(単位) 回 予算の主な増減の理由 こころの体温計管理委託料の減額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 こころの悩みを抱えている人。	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) → ア: 相談者数 イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) こころが元気になる。適切な医療につながる。今の状況を改善するきっかけになる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) → ア: 受診をすすめた人の数 イ: 相談を受けて元気がなった人の割合 (単位) 人 %
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 相談に来所した家族や本人が相談することで、こころが元気になることを目的とするため、成果の指標を相談を受けて元気になった人の割合とした。また、場合により、医療機関を受診することが必要な人もいるため、成果の指標として受診をすすめた人の数とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	回	6	6	7	5	7	7	7	7	
	イ										
② 対象指標	ア	人	9	9	11	6	11	11	11	11	
	イ										
③ 成果指標	ア	人	3	2	4	4	4	4	4	4	
	イ	%	88.9	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	181	184	207	163	152	152	152	152
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	6	3	7	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	158	332	160	278	160	160	160	160
(B) 人件費計		千円	629	1,322	637	1,032	637	637	637	637	
トータルコスト(A)+(B)		千円	810	1,506	844	1,195	789	789	789	789	

事務事業名	こころの相談事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 電話相談や他課からの紹介等により、こころの相談につなげることが出来た。目標値への達成はできなかったが、相談者に対して今後の方向性や対応について等改善に向けてのきっかけ作りとしては重要な事業だと思われる。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 年間の日程が決まっており、随時案内はできない状況。そのため、相談内容によっては、医療機関や関係機関への紹介を必要に応じて行っていく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 こころの相談について広報誌・すこやかカレンダー等での周知のみならず、健診時など多くの機会を捉え周知していく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 医師への報酬等については、前年度同様。これ以上の削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務に係る時間数も最小限で行っておりこれ以上の削減余地はない。保健師という専門職が対応することが大事な事業である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 相談を受けたい人を対象にしているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 窓口として職員で対応し、より専門職への相談につなげている。

3 評価結果の総括 (CHECK)

相談者数が横ばいの状況。相談日が決まっていることもあり、タイムリーに相談につなげることができない場合もあった。しかし、身近な相談できる場所として今後も周知を行い、必要な人が相談できる場としていく。また、自分の心理状態に気づき、早めに身近な相談機関に相談できるようこころの体温計を導入しているが、全国のアクセス総数は5,385件3月末現在、平均448件/月で減少傾向である。市の実態をつかめないことが問題であり、アクセスした人からの相談も無い状況である。よって、平成27年度をもって廃止する。今後はこころの相談の周知徹底を行っていきたいと思う。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>周知に努め、相談体制を整えておく。</p>																						